

施策評価調書(1)

評価対象年度 令和3年度

めざす姿	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”
施策名	1 市民が元気に活動するための環境づくり
施策関係課	(市民生活部)自治振興課・協働推進課・芝支所・川口駅前行政センター／(環境部)朝日環境センター

●施策の基本方針(目標)

市民の自発的な活動を促すとともに、それらの活動の成果を地域にも還元できるような環境づくりを進め、市民の手で地域全体が元気になるようなまちをめざします。

●目標指標

指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:VI-1)				単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)		現状値	33.9(令和2年度)	指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	31.000	0.000				
指標②	名称	町会・自治会加入率				単位	%
	目標値	60.0(令和7年度)		現状値	58.0(令和元年度)	指標の種別	結果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	57.400	0.000				
指標③	名称	NPO法人・ボランティア団体数				単位	団体
	目標値	405(令和7年度)		現状値	375(令和元年度)	指標の種別	結果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	366.000	0.000				
指標④	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標⑤	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度計画額	令和6年度計画額	令和7年度計画額
	事業費	149,732	185,941	184,206	0	0
	概算人件費	132,734	129,072	129,072	0	0
	総事業費	282,466	315,013	313,278	0	0

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 53	単位施策② 54	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			53.5	

施策評価調書(2)

評価対象年度 令和3年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① 地縁活動(町会・自治会など)の支援								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (予算額)	令和5年度 事業費 (計画額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和3年度の 総評価	令和4年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
自治振興事業	市民生活部	27,675	27,999	27,999	0	0	58	現状維持で実施
	自治振興課	5,372	5,236	5,236	0	0		
市表彰関係事業	市民生活部	1,507	1,923	1,923	0	0	58	現状維持で実施
	自治振興課	2,449	2,387	2,387	0	0		
新春交礼会事業	市民生活部	8,555	10,921	10,921	0	0	56	現状維持で実施
	自治振興課	3,002	2,926	2,926	0	0		
町会会館建築事業等補助金	市民生活部	26,741	51,933	51,933	0	0	58	現状維持で実施
	自治振興課	2,528	2,464	2,464	0	0		
コミュニティ推進事業	市民生活部	9,127	10,091	10,091	0	0	58	現状維持で実施
	自治振興課	2,607	2,541	2,541	0	0		
コミュニティセンター指定管理者管理運営費	市民生活部	1,347	1,500	1,500	0	0	52	現状維持で実施
	自治振興課	2,212	2,156	2,156	0	0		
鳩ヶ谷コミュニティセンター施設管理費	市民生活部	5,914	5,596	5,596	0	0	56	現状維持で実施
	自治振興課	15,274	15,262	15,262	0	0		
地域コミュニティ活動活性化事業補助金	市民生活部	12,386	14,995	14,995	0	0	56	現状維持で実施
	自治振興課	2,449	2,387	2,387	0	0		
マンションコミュニティ支援事業	市民生活部	300	300	300	0	0	48	縮小して実施
	協働推進課	553	539	539	0	0		
市民ホール施設運営費	市民生活部	21,407	21,952	21,952	0	0	40	現状維持で実施
	芝支所	28,032	27,416	27,416	0	0		
集会所施設管理費	市民生活部	7,337	8,115	8,115	0	0	48	現状維持で実施
	芝支所	5,530	4,620	4,620	0	0		
川口駅前市民ホール指定管理者管理運営費	市民生活部	4,954	4,475	4,000	0	0	50	現状維持で実施
	川口駅前行政センター	711	693	693	0	0		
コミュニティセンター指定管理者管理運営費	環境部	1,451	1,694	1,694	0	0	52	現状維持で実施
	朝日環境センター	790	770	770	0	0		

単位施策名 ② 市民活動(NPO・ボランティアなど)の支援								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (予算額)	令和5年度 事業費 (計画額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和3年度の 総評価	令和4年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
市民パートナーステーション施設管理費	市民生活部	12,061	15,034	13,274	0	0	56	他事業に統合されて実施
	協働推進課	27,650	26,950	26,950	0	0		
市民との協働推進事業	市民生活部	6,358	7,772	8,272	0	0	54	現状維持で実施
	協働推進課	22,120	21,560	21,560	0	0		
盛人大学事業	市民生活部	2,612	1,641	1,641	0	0	52	現状維持で実施
	協働推進課	11,455	11,165	11,165	0	0		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	自治振興事業				担当	市民生活部 自治振興課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 33-5311	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅵ 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり① 地縁活動(町会・自治会など)の支援					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	町会・自治会加入者	町会・自治会加入者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	住みよい地域づくりのためにコミュニティ組織の充実と推進を図る	市民の自治活動及びコミュニティ事業に関する町会・自治会等住民組織の振興に関すること	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・広報活動報償金を232町会・自治会に交付・感謝状を62町会131名に贈呈	地域におけるコミュニティ組織の充実及びコミュニティ活動の推進が図れた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	20 目	2 細目	1 細々目	自治振興事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		28,321		28,196		27,987		27,999		27,999
決算額(B)=(C)+(D)		27,660		27,638		27,675				
財源※	特定財源(C)	5		5		6		5		
	一般財源(D)	27,655		27,633		27,669		27,994		
概算人件費(E)		4,661		5,530		5,372		5,236		5,236
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.59	0.00	0.70	0.00	0.68	0.00	0.68 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		32,321		33,168		33,047		33,235		33,235

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	なし		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	市表彰関係事業				担当	市民生活部 自治振興課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 33-5311	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅵ 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり① 地縁活動(町会・自治会など)の支援					
根拠法令等	川口市表彰規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市表彰規則に基づく表彰対象者		川口市表彰規則に基づく表彰対象者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	自治の振興と公益福祉の増進に貢献した者を表彰することで、受賞者の意識の高揚及び市の自治の振興を促進することを目的とする		表彰式を開催し、表彰状及び記念品を贈呈する	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	11月10日に川口市表彰式を開催し、表彰状及び記念品の贈呈をした。		市政功労者計70名を表彰した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	20 目	2 細目	2 細々目	市表彰関係事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		2,406		1,965		1,889		1,923		1,923
決算額(B)=(C)+(D)		1,581		1,410		1,507				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	1,581		1,410		1,507		1,923		
概算人件費(E)		2,291		2,370		2,449		2,387		2,387
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.29	0.00	0.30	0.00	0.31	0.00	0.31 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,872		3,780		3,956		4,310		4,310

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	なし		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	新春交礼会事業				担当	市民生活部 自治振興課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 33-5311	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅵ 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり① 地縁活動(町会・自治会など)の支援					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	町会・自治会加入者及び企業・団体等		町会・自治会加入者及び企業・団体等	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民・各種団体等に対し、市の施策を伝えるとともに、交流の場を設けることで、市全体の連携強化と一体感の醸成を図ることを目的とする		市民、各種団体等が一同に会して新年を祝い交歓する	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	1月6日に新春交礼会を開催した		市民・各種団体等に対し、市の施策を伝えるとともに、交流の場を設けることで、市全体の連携強化と一体感の醸成が図れた	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	20 目	2 細目	3 細々目	新春交礼会事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		10,333		11,119		10,965		10,921		10,921
決算額(B)=(C)+(D)		8,776		7,685		8,555				
財源※	特定財源(C)	5,126		6,000		4,446		5,700		
	一般財源(D)	3,650		1,685		4,109		5,221		
概算人件費(E)		1,896		1,896		3,002		2,926		2,926
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.24	0.00	0.24	0.00	0.38	0.00	0.38 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		10,672		9,581		11,557		13,847		13,847

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	申込者が減少傾向にあり、申込者を増加させる方法を検討する必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

事業名称	町会会館建築事業等補助金				担当	市民生活部 自治振興課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 33-5311	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅵ 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり① 地縁活動(町会・自治会など)の支援				
根拠法令等	川口市町会会館建築事業等補助金交付要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	町会・自治会館を利用する人		町会・自治会館を利用する人		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	コミュニティ活動の拠点となる町会会館を整備することにより、コミュニティ活動の推進を図るため		町会・自治会の所有する会館の建築事業等に対する補助金の交付		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	町会・自治会が行う会館の新築及び修繕に対する補助金の交付		4町会・自治会に対し合計17,518,000円の補助金を交付した。コミュニティ活動の拠点となる町会会館の整備に対し補助し、地域社会における市民の自治と連帯の意識を高め、コミュニティづくりの推進に寄与した		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	20 目	2 細目	5 細々目	町会会館建築事業等補助金	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		33,000		28,581		30,868		51,933		51,933
決算額(B)=(C)+(D)		31,943		27,738		26,741				
財源※	特定財源(C)	10,000		5,000		5,000		15,000		
	一般財源(D)	21,943		22,738		21,741		36,933		
概算人件費(E)		1,343		1,185		2,528		2,464		2,464
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.17	0.00	0.15	0.00	0.32	0.00	0.32
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		33,286		28,923		29,269		54,397		54,397

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 ／60	新築・改修年度が一か年に集中する可能性があるため、各町会・自治会と調整し計画的な整備の検討が必要である。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	コミュニティ推進事業				担当	市民生活部 自治振興課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 33-5311	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅵ 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり① 地縁活動(町会・自治会など)の支援					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	町会・自治会に加入している市民		町会・自治会に加入している市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	地域コミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的とする。		コミュニティ活動補償制度、公共的活動における事故傷害見舞金、事業助成金等	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	コミュニティ事業助成金の交付及びコミュニティ活動補償制度の適用		地域コミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与した	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	20 目	2 細目	6 細々目	コミュニティ推進事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		8,715		9,615		9,401		10,091		10,091
決算額(B)=(C)+(D)		4,421		4,227		9,127				
財源※	特定財源(C)	2,500		2,400		7,200		6,900		
	一般財源(D)	1,921		1,827		1,927		3,191		
概算人件費(E)		3,555		3,555		2,607		2,541		2,541
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.45	0.00	0.45	0.00	0.33	0.00	0.33 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		7,976		7,782		11,734		12,632		12,632

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	ニーズが多様化している中、助成事業数増加の要望や補償制度の補償内容の検討が必要となっている。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	コミュニティセンター指定管理者管理運営費				担当	市民生活部 自治振興課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 33-5311	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 19 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-① 地縁活動(町会・自治会など)の支援
根拠法令等	川口市コミュニティセンター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	芝コミュニティ委員会	施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民が自主的な地域活動を通じて、人と人とのふれあいを深め、もって潤いのあるよりよい地域づくりを推進することを目的としている。	芝コミュニティセンターの維持管理及び施設修繕等	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	指定管理者制度のもと、芝コミュニティセンターの管理運営を芝コミュニティ委員会に委託した	事故等の問題なく運営できた	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		2 款	1 項	20 目	2 細目	9 細々目	コミュニティセンター指定管理者管理運営費		
年度			令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
予算額(A)			1,500		1,500		1,500		1,500		1,500	
決算額(B)=(C)+(D)			1,351		1,365		1,347					
財 源 ※	特定財源(C)		0		0		0		0			
	一般財源(D)		1,351		1,365		1,347		1,500			
概算人件費(E)			1,027		1,343		2,212		2,156		2,156	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.13	0.00	0.17	0.00	0.28	0.00	0.28	0.00	0.28	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			2,378		2,708		3,559		3,656		3,656	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策				今後の実施方向性	
52 /60	なし				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	鳩ヶ谷コミュニティセンター施設管理費				担当	市民生活部 自治振興課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 33-5311	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅵ 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり① 地縁活動(町会・自治会など)の支援					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	鳩ヶ谷コミュニティセンター		施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民が自主的な地域活動を通じて、人と人とのふれあいを深め、もって潤いのあるよりよい地域づくりを推進することを目的とする。		鳩ヶ谷コミュニティセンターの維持管理、施設修繕	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	施設修繕、警備業務委託、管理及び清掃業務委託等		感染症対策を十分に行い、利用者が安心し、快適に施設を利用できるよう施設の維持管理ができた	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	20 目	2 細目	10 細々目	鳩ヶ谷コミュニティセンター施設管理費	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		6,436		6,712		6,477		5,596		5,596
決算額(B)=(C)+(D)		5,764		0		5,914				
財源※	特定財源(C)	379		0		308		395		
	一般財源(D)	5,385		0		5,606		5,201		
概算人件費(E)		15,511		0		15,274		15,262		15,262
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.09	4.00	0.00	0.00	0.06	4.00	0.06 4.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	21,275		0		20,714		20,858		20,858

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策				今後の実施方向性	
56 ／60	なし				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	地域コミュニティ活動活性化事業補助金				担当	市民生活部 自治振興課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 33-5311	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	26	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅵ 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり① 地縁活動(町会・自治会など)の支援					
根拠法令等	川口市地域コミュニティ活動活性化事業補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	地区連合町会		町会・自治会に加入している市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	地区連合町会が、協働及び共助の理念に基づき、住みよい地域づくりを目的として行う公共・公益的な地域コミュニティ活動事業の推進を図るもの		コミュニティ事業に要する経費に対する補助	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	地区連合会の実施した事業に対して、補助金を交付した		19地区連合町会の実施した事業に対して、補助金を交付した	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	20 目	2 細目	11 細々目	地域コミュニティ活動活性化事業補助金	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		15,625		15,625		15,625		14,995		14,995
決算額(B)=(C)+(D)		13,221		12,727		12,386				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	13,221		12,727		12,386		14,995		
概算人件費(E)		1,422		2,212		2,449		2,387		2,387
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.18	0.00	0.28	0.00	0.31	0.00	0.31 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	14,643		14,939		14,835		17,382		17,382

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	町会・自治会単位での加入促進活動の事例を周知し、制度の利用を促進する。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	マンションコミュニティ支援事業				担当	市民生活部 協働推進課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-227-7633	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 22 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-① 地縁活動(町会・自治会など)の支援
根拠法令等	川口市協働推進条例、川口市マンションコミュニティ連絡協議会補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	マンション居住者・居住予定者	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	マンションコミュニティにおける管理上の問題、日常生活での問題についての相談の機会を設けることで、町会、自治会を基盤とするコミュニティ形成の活性化を図ることを目的に協議会に対し補助金を交付する。	・マンションコミュニティに関するセミナーや会員交流会の開催・会報紙の発行による情報提供	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・ベランダ菜園講習会(4月、8月)・セミナー(7月)・情報交流会(6月、8月、10月、12月)・会報紙の発行(7月、1月)・定例会	マンション管理における知識の周知やマンションが抱える問題点(防災、修繕積立金等)に関する情報提供を行い、マンションコミュニティの形成に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	各種セミナー等の参加者			指標・目標値の説明(算定式)	実施したセミナー等の参加者数において、過去3年間の参加者数の平均値を指標として、今年度の実績を評価する。				
	単位	人	指標の種別	活動						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		92.00		108.00		89.00		99.00		99.00
	実績値・達成状況	112.00	達成	55.00	未達成	129.00	達成			
指標②	名称	会報紙発行による情報提供件数			指標・目標値の説明(算定式)	年間に1,500件の情報提供を目標値として設定。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		1,500.00		1,500.00		1,500.00		1,500.00		1,500.00
	実績値・達成状況	1,500.00	達成	1,400.00	未達成	1,500.00	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	2 款	1 項	31 目	3 細目	1 細々目	マンションコミュニティ支援事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	300	300		300		300		300		
決算額(B)=(C)+(D)	300	300		300		300				
財源※	特定財源(C)	0	0		0		0			
	一般財源(D)	300	300		300		300			
概算人件費(E)		553	553		553		539		539	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	853	853		853		839		839	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 ／60	マンション施策について、担当部署等と協働の可否について調整を図りつつ、団体が実施する施策の効率化を図っていく。	翌年度	縮小して実施
		翌々年度	縮小して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	市民ホール施設運営費			担当	市民生活部	
					芝支所	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	265-1166	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	2	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-① 地縁活動(町会・自治会など)の支援					
根拠法令等	川口市立芝市民ホール設置及び管理条例、川口市立芝市民ホール管理規則、川口市立芝市民ホール処務規程、川口市立芝市民ホール施設貸与取扱要綱等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	芝市民ホール・鳩ヶ谷駅市民センター・ふれあいプラザさくらの施設・設備		町会や趣味などの活動を行う任意団体、福祉団体などの市民や市外の利用者、会社などの利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民等の文化の向上と福祉の増進を図るとともに、市民相互の交流を促進することを目的とする。		利用者が施設を便利で快適に利用できるよう維持管理を行い、貸館業務を行う。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	①利用許可に関する業務②利用に関わる料金収納業務③施設の維持管理に関する業務		芝市民ホール利用者 延べ21,706人 鳩ヶ谷駅市民センター利用者 延べ 9,363人 ふれあいプラザさくら利用者 延べ23,494人新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用条件・定員の制限のため、従前に比し利用者数は減少したが、地域住民・団体等に交流、会議、研修等の場を提供したことで地域社会の発展に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	29 目	2 細目	1 細々目	市民ホール施設運営費		
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
予算額(A)		21,328				22,424	21,415		21,952		21,952
決算額(B)=(C)+(D)		20,934				20,498	21,407				
財 源 ※	特定財源(C)	0		0			0		0		
	一般財源(D)	20,934		20,498			21,407		21,952		
概算人件費(E)		30,876		28,032			28,032		27,416		27,416
従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.44	1.00	3.08	1.00	3.08	1.00	3.08	1.00	3.08 1.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		51,810		48,530			49,439		49,368		49,368

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以下	9 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	低かった	9 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
40 ／60	各施設に要修繕・要改修箇所が見られるが、今後も計画的に工事・修繕を行い長寿命化を図る。新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用条件・定員の制限のため、施設貸出の稼働率が想定を下回ったが、今後も新型コロナウイルス感染症に対する国や県の方針を見定めながら、実施可能な貸館事業を継続していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	集会所施設管理費			担当	市民生活部	
					芝支所	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-280-1200	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅵ 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり① 地縁活動(町会・自治会など)の支援				
根拠法令等	川口市鳩ヶ谷集会所設置及び管理条例等				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	集会所		施設利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	鳩ヶ谷区域内16ヶ所の集会所の施設管理		鳩ヶ谷集会所の維持管理及び施設修繕	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・集会所の修繕、備品購入・除草委託、清掃委託、鍵保管委託業務等		特になし	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	29 目	3 細目	1 細々目	集会所施設管理費	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		8,729		8,052		8,073		8,115		8,115
決算額(B)=(C)+(D)		7,656		7,107		7,337				
財源※	特定財源(C)	1,118		361		508		716		
	一般財源(D)	6,538		6,746		6,829		7,399		
概算人件費(E)		5,135		5,530		5,530		4,620		4,620
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.65	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00	0.60 0.00 0.60 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	12,791		12,637		12,867		12,735		12,735

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	11 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以上	13 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
48 ／60	今後も施設の老朽化の状況に応じて必要な修繕等を行い、適切な施設の維持管理を図る。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	川口駅前市民ホール指定管理者管理運営費			担当	市民生活部 川口駅前行政センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-227-7600	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-① 地縁活動(町会・自治会など)の支援
根拠法令等	地方自治法 第244条の2

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 株ホテルオークラエンタープライズ	受益者(最終的に受益を受ける人) 市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために) 市民の交流、会議、研修等の場を提供することにより、豊かな市民生活と地域社会の発展に寄与する。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) ①市民ホール利用許可に関する業務②市民ホールの利用に関わる料金収納業務③施設の維持管理に関する業務④セミナー等の会場設営に関する業務⑤飲食サービス等に関する業務	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 新型コロナウイルス感染症の影響はピーク時に比べると減少しているが、昨年度に引き続き感染症対策を徹底し、広いスペースを活用してソーシャルディスタンスを確保しながら会議が行えるというメリットを提示し、商工会議所他多くの市民に利用された。	事業の成果【定性的評価】 パーティー等飲食を供する利用は低調だが、会議やセミナーの利用数は大きく回復し、地域社会の発展に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	利用件数(川口駅前市民ホール)				指標・目標値の説明(算定式)	市民ホールの年間利用件数(会議、式典、その他、催事の開催件数)					
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		600.00		600.00		600.00		600.00		0.00		
実績値・達成状況	594.00	未達成	416.00	未達成	517.00	未達成						
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	2 款	1 項	30 目	3 細目	2 細々目	川口駅前市民ホール指定管理者管理運営費			
年度	令和元年度	令和2年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度	
予算額(A)	3,546	21,791			9,211		4,475		4,000	
決算額(B)=(C)+(D)	3,546	21,791			4,954					
財源※	特定財源(C)	1,008	18,700			0	0			
	一般財源(D)	2,538	3,091			4,954	4,475			
概算人件費(E)		711	711			711	693		693	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.09	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00
	0.09	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,257	22,502			5,665		5,168		4,693	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	新型コロナウイルス感染症対策を継続し、安全な運用に努めていく。また、現行の設備や備品についても計画的な補修等に努めていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	コミュニティセンター指定管理者管理運営費				担当	環境部	
						朝日環境センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5300	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅵ 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-① 地縁活動(町会・自治会など)の支援					
根拠法令等	川口市コミュニティセンター設置及び管理条例、同施行規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	朝日コミュニティ委員会		主に周辺住民	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	あさひコミュニティセンターを、地域コミュニティの活動拠点施設として運営することにより、地域コミュニティの醸成を図る。		指定管理者により以下の業務を行う。・施設の貸出等の管理運営業務 ・周辺住民の地域コミュニティ醸成を目的とした自主事業の開催	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	新型コロナウイルスの感染リスクが高いものを除きコミュニティ活動を再開しているが、ほとんど実施がなく、町会関係の利用が主であった。		各コミュニティ活動が実施できなかったことから成果はなかった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	「あさひコミュニティセンター」の年間利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	直近3年間における最高年間利用者数				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
		10,587.00	10,395.00	9,872.00	7,925.00	0.00				
	実績値・達成状況	7,925.00	未達成	2,336.00	未達成	2,748.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	2 項	7 目	2 細目	5 細々目	コミュニティセンター指定管理者管理運営費			
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算額(A)	1,679	1,694	1,694	1,694	1,694					
決算額(B)=(C)+(D)	1,559	1,481	1,451							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	1,559	1,481	1,451	1,694					
概算人件費(E)	790	790	790	770	770					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,349	2,271	2,241	2,464	2,464					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策				今後の実施方向性	
52 ／60	環境センター建設の際の経緯があり朝日環境センターの所管事業となっているが、「地域コミュニティの充実」を目標とする施設であることから、コミュニティ活動の推進を業務とし、かつ条例・規則を所管している部・課の事業とした方が更なるコミュニティの充実に繋がるのではないかと考える。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	市民パートナーステーション施設管理費			担当	市民生活部 協働推進課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-227-7633	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-② 市民活動(NPO・ボランティアなど)の支援					
根拠法令等	川口市立かわぐち市民パートナーステーション設置及び管理条例、川口市立かわぐち市民パートナーステーション管理規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民、市民団体		市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民の社会貢献活動の支援・促進のために、かわぐち市民パートナーステーションの管理及び運営を行う。		・市内で活動する社会貢献団体の登録・登録団体への会議室等の貸し出し	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・市内で活動する社会貢献団体の登録・登録団体への会議室等の貸し出し・団体が作成した活動に関するチラシ・ポスターの設置・国や県で実施されている助成金の要綱等の設置		新型コロナウイルスの影響により会議室利用の縮小などがあったが、市民団体の登録、活動についての相談や情報提供を行い、活動の支援や促進に繋がった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	NPO法人・ボランティア団体数			指標・目標値の説明(算定式)	かわぐち市民パートナーステーション及び社会福祉法人川口市社会福祉協議会の登録団体数の合算				
	単位	団体	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
		500.00		550.00		405.00		405.00		405.00
	実績値・達成状況	375.00	未達成	344.00	未達成	366.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	31 目	1 細目	1 細々目	市民パートナーステーション施設管理費	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		11,903		10,626		13,974		15,034		13,274
決算額(B)=(C)+(D)		10,149		9,518		12,061				
財源※	特定財源(C)	368		154		207		491		
	一般財源(D)	9,781		9,364		11,854		14,543		
概算人件費(E)		27,650		27,650		27,650		26,950		26,950
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.50	0.00	3.50	0.00	3.50	0.00	3.50
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		37,799		37,168		39,711		41,984		40,224

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 /60	登録申請をする団体も見受けられるが、団体の会員の高齢化等により活動を継続することが難しくなり、登録を取り消す団体もある。また、会議室等を利用する団体が固定化している。多くの団体にとって魅力のある活動拠点の1つとなるよう周知を図る必要がある。		翌年度	他事業に統合されて実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	市民との協働推進事業				担当	市民生活部 協働推進課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-277-7633	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	19	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅵ 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-② 市民活動(NPO・ボランティアなど)の支援					
根拠法令等	川口氏自治基本条例、川口市協働推進条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民、地縁団体、市民団体、川口市、事業者、教育機関等		市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	少子高齢化、単身世帯増加、ライフスタイルの変化などの社会環境の変化に応じて、市民ニーズは複雑化・多様化している。細かなニーズに対応し住みやすいまちとするには、市民等と行政の協働が不可欠であり、協働によるまちづくりを展開するため本事業を行う。		協働によるまちづくりを展開するために必要な事業を行っている。具体的には、協働をするための意識啓発、市民等がまちづくりに参加しやすい環境づくり、ボランティア活動の促進、NPO法人等団体への支援である。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・川口市協働推進委員会・市民活動助成事業(コミュニティ形成、地域活性化等の市民活動に対する助成)・NPOに関する講座及び相談会・ボランティア見本市、ボランティア広場・青少年ボランティア育成事業、ボランティア人づくり基金		新型コロナウイルスの影響により事業の変更や、一部を縮小するも、協働の推進のための意見抽出や市民団体の活動支援、次代の担い手となる青少年に対し、ボランティア体験事業等を実施し、協働やボランティアの土壌が作られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	市民活動助成事業助成団体数			指標・目標値の説明(算定式)	協働の担い手である市民団体活動を支援、まちづくりの一助とする目的で支出する市民活動助成金の助成団体数。指標は予算額を助成限度額で割り返したものの(予算額÷助成限度額)。						
	単位	団体	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		6.00		6.00		6.00		5.00		5.00		
	実績値・達成状況	6.00	達成	0.00		未達成	7.00	達成				
指標②	名称	青少年ボランティアスクール及びさろん参加者			指標・目標値の説明(算定式)	青少年ボランティア育成事業(ボランティアスクール、こどもフリーさろん、夏休みこどもボランティアさろん)の参加者合計数が1,000人となるように設定						
	単位	団体	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		1,000.00		1,000.00		1,000.00		1,000.00		1,000.00		
	実績値・達成状況	892.00	未達成	35.00		未達成	568.00	未達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	2 款	1 項	31 目	2 細目	1 細々目	市民との協働推進事業			
年度	令和元年度	令和2年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度	
予算額(A)	8,097	8,270			7,807		7,772		8,272	
決算額(B)=(C)+(D)	6,015	492			6,358					
財源※	特定財源(C)	5,009			357		5,150		6,297	
	一般財源(D)	1,006			135		1,208		1,475	
概算人件費(E)		22,120			22,120		22,120		21,560	
従事職員人数(人)	常勤	再任用			2.80		0.00		2.80	
		0.00			2.80		0.00		2.80	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		28,135			22,612		28,478		29,332	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 ／60	市民ニーズの多様化や市民団体の動向は常に変化しており、全てを捉えきえることは困難であるが、情報収集を欠かさず、協働の啓発、周知活動を積極的に行う必要がある。また、次代を担う青少年にボランティア体験の機会を設け、ボランティアへの関心を高め、人材として育成することが必要不可欠である。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	盛人大学事業				担当	市民生活部 協働推進課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-227-7633	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-② 市民活動(NPO・ボランティアなど)の支援					
根拠法令等	盛人大学事業実施要領					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	50歳以上の市民及び在勤者		市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	50歳からの社会貢献意識が高くなる世代を成熟した盛んなる人「盛人」と呼び、地域への関わりのきっかけづくりとして「盛人大学」において、この世代の知識、経験を生かす場と交流の場をつくることで地域の活性化を図ることを目的とする。		社会教養コースのほか8コース(全9コース)の講座を実施するとともに、大学祭等の課外活動も行なう。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	令和3年度から拠点をかわぐち市民パートナーステーションに移転した。新型コロナウイルス感染症対策として、定員を例年の約半分とし、社会教養コースのほか8コース(全9コース)の講座を実施するとともに、大学祭等の課外活動を行った。		例年の約半分の受講者数となったが、半数以上が新規受講者が占めており、今後の伸長が期待される。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	盛人大学受講者数				指標・目標値の説明(算定式)	定員数の8～9割程度で端数を調整した数として設定した。					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		220.00		230.00		150.00		150.00		150.00		
	実績値・達成状況	280.00	達成	0.00	—	195.00	達成					
指標②	名称	卒業後に社会貢献活動を行った方の人数				指標・目標値の説明(算定式)	指標1目標値×0.8×0.6 指標1の受講者数目標値に卒業者の概算として0.8を掛け、さらにその6割について端数を調整し目標値とした。					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		100.00		110.00		70.00		70.00		70.00		
	実績値・達成状況	74.00	未達成	0.00	—	0.00	—					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2款	1項	31目	5細目	1細々目	盛人大学事業	
年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)		4,403		6,001		3,462		1,641		1,641
決算額(B)=(C)+(D)		3,823		4,879		2,612				
財源※	特定財源(C)	37		25		0		0		
	一般財源(D)	3,786		4,854		2,612		1,641		
概算人件費(E)		11,455		11,455		11,455		11,165		11,165
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.45	0.00	1.45	0.00	1.45	0.00	1.45
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		15,278		16,334		14,067		12,806		12,806

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策				今後の実施方向性	
52 ／60	応募者の半数が過去の受講生であり、目標とする卒業後の社会貢献活動へと結びついていない。講座内容の見直しや受講生への啓発を図るとともに、地域や社会貢献団体と連携し、卒業後円滑に社会貢献活動に移行できるような環境を整備していく。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	現状維持で実施